

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム パートナーハウスすずらん

(ユニット名) かえで

記入者(管理者)

氏 名 寺尾 洋子

評価完了日 平成 19 年 6 月 2 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月28日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105180		
法人名	(株)メディックス		
事業所名	グループホームパートナーハウスすずらん		
所在地	松山市高井町 1 2 9 6 - 1		(電話) 089-955-6866
管理者	寺尾 洋子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目 5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月14日	評価確定日	平成19年6月28日

【情報提供票より】 (平成 19年6月3日事業所記入)

(1)組織概要				
開設年月日		平成17年8月21日		
ユニット数		2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数		17 人	常勤	13人, 非常勤 4人, 常勤換算 15.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)				
家賃(平均月額)		40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金		有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)		有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			
(3)利用者の概要 (平成19年6月3日現在)				
利用者人数		18 名	男性 7 名	女性 11 名
要介護1		2 名	要介護2	6 名
要介護3		2 名	要介護4	5 名
要介護5		3 名	要支援2	0 名
年齢	平均	78.9 歳	最低	62 歳
			最高	92 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算				
指定 (あり)・なし		指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし		指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし		短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし		医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

- 敷地内の芝生でお茶を楽しまれたり、縁側に座って庭園を眺める等、事業所内でのんびりと過ごすことができる。
- 利用者個々にかかりつけ医があり、それぞれに合わせて職員が受診の同行をされている。
- 男性の利用者で温泉に行かれたり、外食をしたいと希望された場合については、職員が利用者とともに出かけるようにされている。その方の要望が出た時々で対応されている。
- 外部研修受講時に習得した口腔体操を事業所で実践されていた。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	・湯飲み等、個々で好みの食器を使用しておられた。又、利用者の状態に応じて自助具を使用する等、使いやすい食器も用いておられた。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	・自己評価作成を全職員で取り組まれた。自己評価作成時に、口腔ケアの実施や地域とのつながり等、事業所の今後の課題を明確にされた。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	・会議を開催時、災害時の対応や事業所についての説明をされているが、現在は、出席者からの意見は少なめである。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	・ご家族に対して、利用者個別の日々の様子を記したすずらん便りを送付しておられる。現時、ご家族は安心して事業所に任せておられ、意見や苦情が少ないようである。
▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	・散歩時等に近所の方へあいさつされたり、地域の行事等への参加を積極的にされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			< 運営理念 > ・利用者の人格と価値観の尊重 ・利用者の自己決定の尊重 ・安心と意欲もてる自立生活への支援 ・家族、地域社会との交流。と掲げている		自治会の参加、神輿、亥の子、夏祭り、バザーなど地域の方々の協力を得ながら、参加している。
			(外部評価)		
			事業所では、地域の方達との交流を目指して、地域行事等に積極的に参加されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			ホールの見やすいところに理念を掲げており、日々話し合いをしながら、取り組みをおこなっている。		・利用者を傷つけることなく、気持ちをくみ取りながら接していく。 ・物事を急がせることなく、相手のペースに合わせた生活を支援する。 ・地域活動には、なるべく参加する。
			(外部評価)		
			管理者は、日常の中で職員に理念に基づきお話をされている。職員は、利用者個別に支援してくことを重視されており、個々とお話をする時間を大切にされていた。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入居の際、理念の説明をしており、また2ヶ月に1度の運営推進会議に地域の方達や家族に参加して頂き理解を促したり、交流を図っている。		入居時の説明。運営推進会議の開催

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 回覧板をまわしたり、散歩されている近所の方と会話をしたりと、交流を図っている。		入居者と散歩中、出会った方との会話を大切にしている。お友達になり、遊びに行っ際、手作りの靴下等頂く。
5	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会、神輿、亥の子、お祭り等の参加や、納涼祭への招待等行っている。		自治会への参加、毎年神輿・亥の子の受け入れ、バザーの参加など行っている。
			(外部評価) 地域の行事等への参加を積極的にされている。以前は、ご近所の方と顔なじみになり、行き来をするようなこともあった。		今後、事業所では、地域の方達の介護の相談等に付いても、受け入れていきたいと考えておられる。さらに、地域のニーズの把握から地域との関係を構築していけることが期待される。
6		○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・ 同系列（かとれあ、こすもす）と、3施設合同の納涼祭を開催している。また季節行事の開催など		納涼祭、たなばた祭り、クリスマス会、敬老会など。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価により、指摘を受けた点や自己反省点などを、すぐに改善するよう努めている。		運営理念の共有。共有空間の居場所確保のためのソファ購入など。
			(外部評価) 自己評価作成を全職員で取り組まれた。自己評価作成時に、口腔ケアの実施や地域とのつながり等、事業所の今後の課題を明確にされた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			地域行事などへ参加させていただいたり、ボランティ アに来ていただいたりしている。		地域行事のお知らせや取り組みの連絡をいただい たり、フラワーアレンジメントのボランティアに来てい ただいたりしている。
			(外部評価)		
			会議を開催時、災害時の対応や事業所についての説明 をされているが、現在は、出席者からの意見は少なめ である。		さらに、今後は地域の方の事業所に対する要望を聴き 取ったり、事業所内で解決が困難なことについて話し 合ったりすること考えておられる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			公民館、支所などを通じ、地域にあるサービスや行事 などの助言等をもらっている。		地域行事の開催や建物の設備等を教えてもらってい る。
			(外部評価)		
			市の生活保護課の担当の方の来訪があり、状況の説明 等を行っている。又、地域福祉権利擁護の申請方法等 についての説明を受け利用者と共に出向いておられ る。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			・勉強会にできるだけ参加している。 ・成年後見制度を利用される方に対し関係者への連絡 調整をおこなっている。		入居者へ成年後見制度について、資料提供し説明をお こなった。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止の勉強会に参加し、ミーティング等にて情報 共有を図るよう努めている。 マニュアル作成している。		職員一人ひとりが虐待防止について学べるよう資料提 供し、防止に努めている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者、家族が十分に納得できるまで個別に誠意をもって対応にあたっている。また不明な点等あれば、いつでも相談にのっている。		特に解約後についての不安を抱える方が多く、納得のいく退居先への支援等を誠意を持って対応にあたっている。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や、苦情等があれば、すぐに職員及び管理者が誠意をもって対応、対処するよう努めている。また、入所の際ホームの苦情相談窓口及び第三者機関相談窓口(松山市介護保険課など)の連絡先についても説明している。		苦情等があれば、すぐに改善するようにつ努め、申し送りノートを作成し、情報交換を図っている。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月<すずらん便り>を作成し送付している。 (生活状況や体調、行事への参加などについて報告し写真を同封)		翌月の10日までに送付している。また状態の変化については、必要に応じその都度報告している。
			(外部評価)		
			ご家族に対して、利用者個別の日々の様子を記したすずらん便りを送付しておられる。		さらに、今後、ご家族に事業所のことをさらに知っていただけるよう、ケアの取り組みや職員の紹介等ご家族の要望を把握して、事業所全体のことが分るような情報提供方法も考えておられる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や、苦情等があれば、すぐに職員及び管理者が誠意をもって対応、対処するよう努めている。また、入所の際ホームの苦情相談窓口及び第三者機関相談窓口(松山市介護保険課など)の連絡先についても説明している。		苦情等があれば、すぐに改善するようにつ努め、申し送りノートを作成し、情報交換を図っている。
			(外部評価)		
			現時、ご家族は安心して事業所に任せておられ、意見や苦情が少ないようである。		さらに、今後はご家族が参加しやすいイベント等を検討して、ご家族同士での交流する機会も作っていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			一方的ではなく、職員の意見に耳を傾け一緒に話し合い協力しあう姿勢で対応している。		ミーティングや毎日の申し送りの際、意見や提案を聞く機会を設けている。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			状況の変化や要望に応じ職員の勤務調整を行っている。時間外勤務または休日出勤などで対応にあたっている。		急な状態の変化にも対応できるよう、緊急連絡網を作成しており、そく対応に当たれるよう取り組んでいる。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			出来るだけ移動は抑えている。離職等、やもえない場合は利用者に不安や支障が生じないよう配慮に努めている。		不安や支障が生じないよう対応に注意しケアにあたっている。
			(外部評価)		
			開設時から勤務されている職員も多くおられ、利用者との信頼関係が築かれ、馴染みの関係となっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			勉強会への参加や資料作成などで情報共有を図り、能力向上に努めている。		勉強会などの資料をユニットごとに作成し申し送りノート活用にて全員の情報共有を図っている。
			(外部評価)		
			職員の勤務の都合等も考慮して、研修受講を推進しておられる。受講後は、ミーティング時に報告をされている。研修受講時に習得した口腔体操を事業所で実践されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他のグループホームへの定期的な勉強会や交流会、同系列の(かとれあ・こすもす)等との行事を交えた交流会などを行っている。また、三施設合同<運営会議>にての勉強会を行っている。		勉強会で学んだ内容をすべての職員に周知し、質の向上を図っている。
			(外部評価)		
		他事業所のイベントへのお誘いがあり、利用者と共に参加するなど交流する機会がある。			
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			不安や迷い等、職員の相談に積極的にのり、ジレンマ、葛藤を受け止め、支えている。		常に職員のことを気にかけて、悩みや不安の相談に応じている。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			勤務状況、実績など、定期的に把握されており、経験に応じた研修の受講を積極的に行えるよう取り組んでいる。また、才能を発見し強化している。		仕事に必要な知識や技能を身に付けるための研修等に積極的に参加できるよう取り組んでいる。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			日頃より話を傾聴し、内容に応じた対応を行っている。		管理者へ報告し、職員全体で情報共有を図り対応できるようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) いつでも相談しやすい雰囲気をつくり、相手の気持ちをくみ取りながら一緒になって取り組んでいく努力をしている。		話しやすい雰囲気を作り、話を傾聴するよう努力している。
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居者本人と家族の希望、要望をふまえた上でどのようなケアプランが必要なのか話し合うようにしている。		まず本人、家族が今一番必要としているサービスが何かを見極めるために、話を十分に傾聴するようにし、対応にあたっている。
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 必要なサービスがスムーズに受け入れられるように、家族と密に連絡を取り合い、家族の協力を得ながら取り組んでいる。 (外部評価) 現時は、病院から入居されるようなケースが多い。入居間もない間は、職員が寄り添い、その人に合わせて支援するよう心がけておられる。		必要な時には、家族に来ていただくなど、協力をお願いしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者に俳句など、得意としていた分野について話をしながら一緒に実施することで、職員は学んだり、アドバイスを受けていたりしている。 (外部評価) 買い物時、買い物の荷物を男性の利用者が自主的に持ってくれることがある。		居室にある俳句の本を一緒にみながら、学ばせていただく。またニュースや新聞等で疑問に思ったことを聞いてこられた際、なるべくその場で調べ、一緒に学んでいく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人の状態についての情報を共有し、行事や来所時等に話しをするなど、本人への支援方法などについて話し合っている。		来所時に一緒に食事を楽しんだり、お茶を飲んだりしている。
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 各個人に合わせて、必要時、相談対応をおこなっている。		入居者と家族間の連絡、伝達等行い、より良い関係が保てるよう支援している。
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 自由な面会時間や気楽に尋ねてきやすい雰囲気作りに配慮している。		友人等面会に来られた際、ゆっくりと話しができるよう環境調整にあたっている。
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ホールにて同じテーブルに座る人の位置を配慮したり、いろんな話題を提供するなど、声かけをおこなっている。		入居者が一緒に過ごせるよう、ソファの位置を考えたりしている。
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 身寄りがいない方や家族の協力が難しい方など、代わって病院や他の施設等の連絡調整を行っている。		・ 退居後も納得のいく行き先が見つかるまで、フォローしている。 ・ 家族がいつでも遊びに来れるような雰囲気を作っている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			意思疎通が図れる場合は、本人、家族と話し合い意見を尊重している。意思疎通が困難な場合は、本人の体調等考慮し配慮している。		入居される際、今までの生活歴、暮らし方などを家族や本人からお聞きし、今までの生活スタイルをなるべく崩さないよう配慮し支援している。
			(外部評価)		
			意思の表出がむづかしいような方については、何を喜ばれるか嫌がるのかということを探っておられる。現在、知り得た情報についての職員間の共有は、介護記録や口頭で行っておられる。		さらに、今後は、アセスメント表の作成等、利用者個々の情報を蓄積する方法についても検討しておられる。
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居の際、家族または本人に情報を得ている。また意思疎通が難しく、家族のいない方の場合、入居前の施設等から情報を得ている。		入居されてからも本人との会話の中から、今までの生活歴や馴染みの場所などの情報を得るように、勤めている。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			職員全員が把握し状況に応じて対応にあたっている。		毎日の介護記録、申し送り等で全員が把握できるように努めている。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			個々人の状況に応じ、本人及び家族と話し合い計画を作成するよう努めている。来訪時には、近況と共に家族へケア内容等の説明を行っている。		ケアプラン作成時には、入居者本人にも出席して頂き関係職員全員の意見を取り入れながら、本人の納得のいくケアプランを作成している。
			(外部評価)		
			職員や看護師ご本人も参加され、計画を作成しておられる。ご本人にどのようにしたいかということを探ね、発した言葉をそのまま記録し、職員で背景を探っておられる。ご家族の来訪時に、計画書を提示して意見をいただくようにされているが、現在は、意見は少ない。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			3ヶ月に一度見直しを行っているが、状況、状態の変 化が生じた場合はその都度見直しを行っている。		本人、家族、関係職員の意見を取り入れながら、介護 計画を作成している。
			(外部評価)		
		利用者個々の状態の変化時等に見直しを行っている。			
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			毎日の介護記録を記録し、日勤帯、夜勤帯がそれぞれ ケア実施について申し送りをし、またその評価を行っ ている。		一人ひとりの記録を記入し、日勤帯、夜勤帯に申し送 りを必ず行っている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			本人、家族の要望に対して、その都度柔軟な対応を 行っている。		それぞれの要望を満たせるよう、柔軟に対応してい る。
			(外部評価)		
		外食をしたいと希望された場合については、職員が利 用者とともに出かけるようにされている。その方の要 望が出た時々で対応されている。			

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 避難訓練、理美容、地域行事の参加、移動図書館の利用、地域のボランティアなど、積極的に参加している。		消防立会いによる避難訓練、定期的な訪問理美容、行事ごとのボランティア（踊り、マジックショー）、地域の方によるボトルフラワーボランティアなどを行っている。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 特に希望されるサービスは今のところない。		マッサージなどの説明等してみたが、ことわられる。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 権利擁護を受ける必要性が生じた場合連絡調整行っている。地域包括支援センターとは、2ヶ月に一度運営推進会議にて話しをしている。		現在、地域包括支援センターとは、運営推進会議のみである
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人及び、家族の希望する医療機関へ適時受診できるよう支援している。 (外部評価) 利用者は、これまでかかっていた病院で受診を継続されている。いざという時にもその方の主治医に指示を仰ぐようになっている。受診時には職員が付き添い、主治医と直接お話をされている。		個々人の希望する医療機関への定期的受診や必要に応じた受診等を行っている。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 家族の希望する医療機関への受診、または往診等、個々人それぞれに対し対応している。		現在個々人に合わせて4ヶ所の専門医にかかっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 個々に応じて看護職員と協力しながら対応にあたっている。		看護師は一人ひとりの健康状態を常に把握できるよう、介護職員と連携を取りながら支援しており、必要に応じて医療機関への連絡調整にあたっている。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院された際、2, 3日に1回面会に行き洗濯物等の交換を行い、ドクターあるいは、看護師と情報交換を行い早期退院等に努めている。		職員が交代で2, 3日に1度面会に行き、洗濯物の交換にあたっている。その際、看護師ないしドクターと話しをし、情報交換をしている。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 必要に応じ、終末期については家族や医療機関また職員等で話し合っている。 (外部評価) ご家族の希望等も踏まえて対応されている。身寄りのない方については、亡くなった後のことについてもお世話をされている。		終末期の対応について、ご自分で文章に残されている方がいらっしゃる。、入居者全員については話し合いはできていない。今後話し合いをしていきたい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族、かかりつけ医等で、事業所でできる事と出来ない事との話し合いはしている。終末期や急変時は救急車要請で対応するようになっている。		事業所が医療機関ではないため、終末期、急変時はかかりつけ医にての対応の所と、その日の指定救急病院にての対応の所があり、かかりつけ医によって異なっている。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居の際事前訪問調査を行い日常生活状況や受けていたサービス、食事状況、医療健康状況その他、家族構成等の情報交換等を行っている。入院、退去の際は移動先へサマリー等で状態の連絡調整を行っている。		利用前訪問調査、サマリー等での情報交換実施

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			記録等の個人情報は事務所の鍵付きの棚で保管しており、職員による個人情報の秘密保持も徹底している。入居者への言葉かけも十分気を付けて対応にあたっているが、時には、口調がきつくなってしまう時もあった。		個人情報については、職員全員に契約書をとっている。入居者への言葉かけがもしきつくなってしまった場合、後で必ず「さっきは言葉がきつくなってごめんなさい」と謝るようにしている。
			(外部評価)		
			職員は、利用者のいるような場所での会話は、利用者のプライバシーの保護に心がけておられ、大切なお話は職員だけで集まるような場所で話し合うようにされている。		
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			わかりやすく、ゆっくりとしたペースでお話しし、自己決定を尊重しながら、生活の支援を行っている。		わかりやすい言葉で説明し、本人の希望は取り入れるよう努めている。
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			無理強いせず、本人のしたい事を取り入れながら、支援している。		本人の希望を出来る限り取り入れ、毎日を楽しく過ごしてもらっている。
			(外部評価)		
			利用者の居室は、個々が職員と共に掃除をされている。事業所では、個別の支援に力を入れており、一人ひとりのお話に耳を傾け、支援しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人、家族の希望にて、理美容(カット、髭剃り等)美容師に訪問してもらい実施している。洋服など本人の好みに合わせて、一緒に購入するようにしている。		現在馴染みの美容室への希望がないため、訪問美容師にて実施しているが、希望があればお連れしたい。職員に美容師がいるため、本人が希望する髪形など、その場で聞き入れ対応にあたっている。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 希望の献立を作成しメニューに取り入れている。出来る方には、食事の準備等(皮むきなど)していただいている。 (外部評価) 旬の食材を使用し、利用者の好み等も取り入れた食事となっている。食事中は職員も介助や会話しながら、一緒に食事をされていた。現在は、職員が調理や配膳をされている。		現在、皮むきなどをしていただいているが、もっとできること、できそうなことがないかを見い出せるよう支援していきたい。 さらに、利用者の出来ること、出来そうなことを見極め、利用者も食事一連の流れにかかわることが出来るような支援等も検討されてみてはどうだろうか。事業所では車椅子の方でも台拭きは出来るのではないかと考えておられた。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) アルコール等で医師からの指示がある場合は制限をもうけているが、それ以外は好みの物が選択できるようにしている。		10時15時には好みの飲み物を選択して頂き、またおやつも食べたい物をお聞きし、一緒に買いに行くよう努めている。
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個人に合わせ、プライバシーを配慮しながら排泄パターンを把握し対応している。		排泄パターンを把握し、声かけ、誘導等行っている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			無理強いせず、本人の希望を聞きながら入浴していただいているが、最低週2回以上は入っていただくよう支援している。		季節に合わせ、ゆず湯や菖蒲湯などを実施している。
			(外部評価)		
			利用者の状態に合わせて機械浴も使用されている。男性の方で温泉に行かれたり、事業所の一番風呂を好まれる方もいる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望により、休んでもらうようにしている。また、夜もテレビをみたりと個人のペースでしてもらっている。		日中はお昼寝をされたり、個人のペースを大切にしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			入居者同士が楽しく会話できるよう環境づくりをしたり、散歩をしたり、おりがみ、壁画作成などをしていただいている。布巻き手作業も日課として行っている。		天気の良い日には、散歩にでかけたり、趣味、得意なことをしていただくなど、充実した生活が送れるよう支援している。
			(外部評価)		
			事業所には、手入れされた日本庭園(中庭)があり、縁側に腰掛けてのんびり出来るようなスペースがある。体操の時間や個々が趣味のことをするような時間もある。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ご自分でお金を管理している方は、買い物をするたびに、出納簿をつけておられる。また、居室にて毎回お金を数えている方もおられる。		家族の希望で、出納簿をつけておられる方は、管理者が間違いがないかを本人と一緒に確認している。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天候がよく体調のよい時は、散歩、外気浴ができるよう努めている。		近くの公園まで散歩をしたり、中庭で日向ぼっこをされたりしている。
			(外部評価)		
			病院受診や外食、ドライブ、買い物等、利用者の方達が大人数で出かけられることや、個別に出かけられるときがある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			初詣、梅まつり、花見、菊花展など、季節感を取り入れた行事（外出）の機会をもうけている。		初詣は、個人の行きたいところを取り入れ、石手寺、椿さん、伊佐爾波神社、護国神社等に行っている。また入居者が季節行事などのニュースをみて、行きたいと訴えがあれば、すぐ計画を立て行くように努めている。菊花展、しまなみ海道など。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人希望時、電話をかけてもらったり、家族、友人からの電話は引き継ぎを行っている。		家族、友人等に年賀状をだされたり、手紙をおくったり、事務所にメールをだしたりしている。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			自由な面会時間でいつでも訪問ができ、ゆっくり話ができるよう環境調整の努めている・		来訪者へはあたたかくもてなし、コーヒーやお茶などをおだししている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会への参加、マニュアル作成等で身体拘束につ いて理解している。		頻回な巡視など、拘束せず安全な生活ができるよう配 慮している。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 見守りを行い、鍵はかけていない。 (外部評価) 玄関は開放され、気持ちのよい風が通り抜けていた。		自ら居室に鍵をかけられる方はおられるが、それ以外 鍵は使用していない。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 日中の見守り、夜間の定期的な見回り等実施してい る。		夜間は2時間毎の見回りを、体位変換、オムツ交換と あわせて行っている。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) はさみ、刃物等は事務所で保管しているが、必要時は いつでも提供している。		ご自分で持たれている方もおられるが、状況に応じて 見守り等行っている。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 防災訓練の実施。昼夜通しての個々の行動の見守り。 危険物の管理や、環境整備、急変時の対応の説明、実 施。事故防止マニュアル作成等を行っている。		マニュアルは事務所にあり、いつでも観覧できるよう にしている。環境整備(コードをのける、イスをし まう、居室でハロゲンヒーターを使用されている方につ いては頻回な見守り、アンカーを使用されている方も 頻回な見守り等行っている。)

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ほとんどの職員は応急手当の講習をうけており、また急変時対応マニュアルを作成している。		応急手当講習は受けてはいるものの、定期的ではない。今後定期的に受けていきたい。誤嚥等の危険のある方については常に注意を促している。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練の実施、運営推進会議による町内会との連携体制等、日頃から働きかけを行っている。 (外部評価) 夜間の訓練も行っておられる。運営推進会議時に、火災が起こった時の対応についてお話をされ、次の日に町内会長から地域の連絡網をいただいた。		年2回の避難訓練の実施、訓練をおえての反省会。運営推進会議にて、避難訓練の結果報告及び地域による協力体制の話し合い。地域の緊急時連絡網への参加等
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 病状に応じた危険性(誤嚥、転倒等)について、適時家族に説明し、話し合っている。		主治医、家族、管理者、看護職員等での話し合いを行っている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックの実施。接触や介護等を通じていつもと違う点等、看護師、管理者に連絡し、必要に応じ主治医へ報告または受診行う。		日中、夜間とわず連絡体制をとっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの現在使われている薬を分かるように記載している。また薬の効能書きをファイルにとじ副作用等が分かるようにしている。		基本台帳を作成し一人ひとりが現在飲んでる薬剤名、一回量、服用方法、作用等を記載している。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日の食事になるべく多くの野菜を取り入れる。寒天ゼリーを召し上がっていただく。1日1000ℓ～1500ℓの水分補給を促す。		お茶寒天、ポカリ寒天、オレンジ寒天等、いろんな味付けで毎日作っており、おやつ時や食事時にお出ししている。主治医指示にて下剤服用や浣腸施行している方もおられる。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 夜間は確実に実施できているが、毎食はできていない。食物残渣はないか、服薬後の確認等はおこなっている。		毎食後実施できるようにしていきたい。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの食事量、水分量の把握に努めている。バランス良く栄養摂取できるよう、食事の形態、量について常に検討し、必要に応じ主治医の意見を聞いている。 (外部評価) 利用者の状態等のこともあり、ご本人の希望するように食事を摂っていただけないような方もおられるが、ミキサーにかけたり、とろみをつける等、栄養や水分が必要量摂れるよう工夫をされていた。		一度の食事摂取量が少ない等で、一日の必要な栄養が摂取できない場合、主治医指示にて、栄養補給飲料を服用されている
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症予防対策マニュアルを作成し、実施している。手洗いの励行。		手袋、エプロンの着用。 外部からの感染予防対策として、入り口にて来訪者の方に文章でお願いしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 肉、魚は当日配達してもらっており、野菜、その他は前日購入している。食器類は食洗器で乾燥。毎日夜勤者による、まな板、布巾の消毒等行っている。		魚は当日の朝配達されるが、さしみなどの生ものは、できるだけ早く食べれるよう、昼食のメニューに組み込んでいる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりや建物の周囲には、家庭的な雰囲気づくりの配慮をしている。入り口はいつも開放している。		玄関まわりに草花を植えている。親しみやすい表札をかけている。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有空間はすべて家庭的な雰囲気であり、居間の窓からは和風の庭がながめられる。 (外部評価) 和を基調にしたしつらえとなっており、さりげなく季節の花等も飾られていた。共用空間のいろいろな場所に椅子やスペースが作られており、利用者はお好きな場所で過ごせるようになっていた。		玄関には、生け花をかかさないように心がけている。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファーを置き、くつろげる空間を確保している。		テレビの前にソファーを置いている。応接空間があり、活用されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			個々人によって生活用品を持ち込まれている方もおられるが、身寄りのいない方、また病院生活が長く、そのまま入居となった方は衣類と衣装ケースのみである。		馴染みのものや、生活用品がない方でも、手作りの壁画や当ホームでの思い出写真等を飾るなど、少しずつふやしていけるようにしている。
			(外部評価)		
		居室入り口には、和風生地でのれんが掛けられていた。趣味のものや以前に使っておられた馴染みのものが持ち込まれていた。			
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎朝、掃除の際ホールは喚起を行い、居室は起床時喚起するように努めている。		温度調節は職員本位に合わせるのではなく、入居者の年齢に合わせた温度調節が大切であり、常に心掛けている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下には、すべて手すりが付いており、トイレのスペースも広く、すべてがバリアフリーになっている。車イスの方でもゆったりと湯船につかれるよう、機械浴を設置している。		浴室内でも安全で安心して入っていただけるよう、手すり等の設置をしている。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 本人の残存機能を生かしたケアを実施している。		料理の味付け、調理は難しいが、野菜の皮むき等なら出きる、などといった今までの経験により残っている能力を生かした生活支援を行っている。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 縁側で日なたぼっこや、お茶をしたり、芝生で食事を楽しんだりしている。		天気の良い日は、縁側で日なたぼっこを楽しんでいる。たなばたには、芝生に笹をたて、その下で食事を楽しんだ。

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	どのような生活がしたいか、日々会話をしながらお聞きしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	一斉には難しいが、個々に合わせて散歩や外出をしながら、過ごすようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	今までの生活パターンをなるべくくずさないように過ごしていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	笑顔で過ごされることが多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	会話の中から行きたいところを聞きだし、外出計画をたてている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	毎日バイタルチェックを行い、異常時には主治医と連絡を取り合い対応にあたっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	個々の状況や要望を常に受け入れ支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	家族と話し合いの機会を常にもっている。、
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	利用者の友人や、地域のボランティアの方が来られている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②) 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地区の会長が時々来られ、行事ごとの案内などをしてくれたり、民生委員によるボランティアなどがある。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) ③ 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員不足により慌ただしく仕事をしているように思える。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①) 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	していると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①) 1 ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	していると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

○特別な事はしていないが、個々の思いや意見を大切にしながら、今までの生活スタイルをなるべくくずさないよう支援している。また「ここに来て良かった。」と思っていただけるよう職員は日々努力している。